

2008

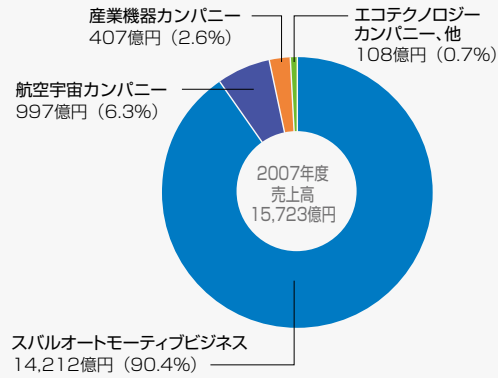


会社概要

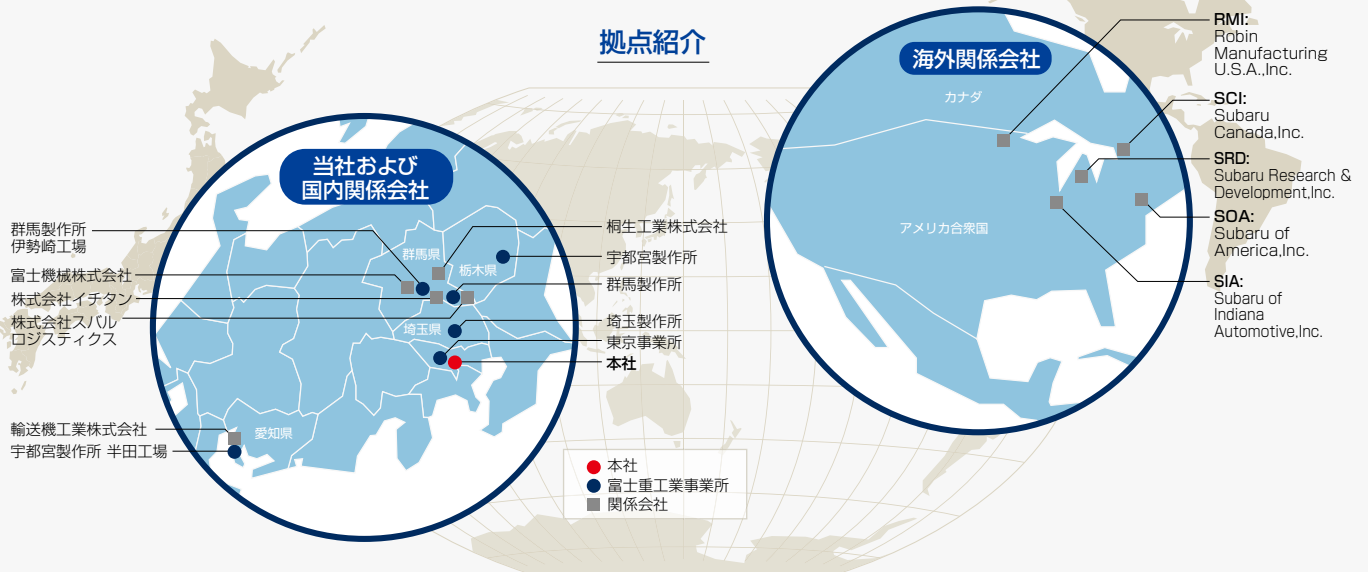
(2008年3月31日現在)

社名	富士重工業株式会社 (Fuji Heavy Industries Ltd.)
創立	1953年7月15日
資本金	1,537億円
従業員数	26,404名(連結) 12,801名(単独)
本社	〒160-8316 東京都新宿区西新宿一丁目7番2号 代表電話番号 03-3347-2111
売上高	15,723億円(連結) 10,188億円(単独)
営業利益	457億円(連結) 258億円(単独)
経常利益	454億円(連結) 248億円(単独)
連結子会社	国内44社、海外18社
持分法適用の子会社	国内16社、海外 5社

2007年度売上高部門別比率(連結)



拠点紹介



Social & Environmental Report

2008



表紙のデザインについて 「スバルと人と地球環境」

スバルの電気自動車と、さまざまなステークホルダーとの空間を演出し、スバルと人、地球環境のつながりをイメージしたデザインです。今後、お客さまに喜ばれる商品・サービスを提供するとともに、ステークホルダーの皆さまや地球環境との共生を目指していく姿を表現しています。



スバルも「チーム・マイナス6%」に参加しています。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

編集方針

本報告書は、富士重工業株式会社・国内関係会社・海外関係会社の社会や環境への取り組み成果をご紹介します。お客さま・株主の皆さま、取引先・地域社会・従業員などのステークホルダーと、コミュニケーションを図り、取り組み内容のさらなる向上を目指すことを目的として発行しました。

本冊子では、できる限り重点を絞り、特徴的な取り組み成果については「特集記事」として取り上げ、読みやすい報告書を目指しています。そのため、環境会計集計結果や各種取り組みの詳細なデータにつきましては、当社のホームページで「2008社会・環境報告書webデータ編」としてご紹介しています。

[当社の環境への取り組みご紹介ページのアドレス]

<http://www.fhi.co.jp/about/envi/report/index.html>

また、本報告書の内容につきましては、2007年度版に引き続きCSRコンサルタントの海野氏(株式会社創コンサルティング代表)に第三者評価を依頼しました。これは当社が「社会的責任を全うする企業」を目指した取り組みを進めるうえで、役立つ意見、評価を継続的にいただきたいと考えたからです。この評価書は本冊子の巻末に記載しています。

2007社会・環境報告書 第三者評価への対応について

昨年度いただきました第三者評価に次のように取り組んでおります。

■CSR方針にコア・ビジネスの要素を盛り込み特色あるCSR活動を

CSR活動計画に商品の環境負荷・環境リスクの低減、交通安全活動などのコア・ビジネスにかかわる項目を織り込み取り組みを進めています。

■CSRの活動範囲をグループ全体、海外の生産、販売まで広げること

CSRと環境の活動組織をCSR・環境委員会に統合し、グループ全体でCSR活動を推進。海外主要企業でも活動体制を作り、動き出しています。

■基幹のKPI(キー・パフォーマンス・インジケータ)を検討、

グローバルで収集しCSR活動に活用を

グループ全体のCSR共通活動項目から指標の検討を進めております。

■風力発電等エコテクノロジーへの取り組みの継続的報告を

巻頭特集で紹介。今後も継続して報告していきます。

[社会性報告]

■社内への意識浸透を継続して展開すること

全社方針のもと、各事業所で活動計画を策定・推進して意識浸透を図りましたが、社内アンケートではさらなる啓発が必要という結果に。引き続き意識浸透に努めていきます。

■お客さま第一に取組み重要性や従来の課題、今後の方向を示すこと

具体的事例として巻頭特集で社内・販売店でのCSへの取り組みを紹介しました。

■全体方針立案、活動重点評価、目標設定、成果評価という報告サイクルの検討を

CSR活動の主要項目について実績と次年度の計画を掲載しました。

[環境報告]

■マネジメントが国内に限られており、グローバルなチェック&レビューを

CSR・環境委員会にて海外主要企業の実績、計画を報告・審議。国内と同等の取り組みを進めています。

■燃費、排出ガス、クリーンエネルギー車という3つの重点要素がシンプルにわかるような工夫を

地球温暖化防止特集に取り上げるなどわかりやすい形で掲載しました。

対象範囲

対象企業

富士重工業株式会社(主要生産拠点の所在地)

- スバルオートモーティブビジネス
[群馬製作所(群馬県太田市他)、東京事業所(東京都三鷹市)]
- 産業機器カンパニー[埼玉製作所(埼玉県北本市)]
- 航空宇宙カンパニー[宇都宮製作所(栃木県宇都宮市、愛知県半田市)]
- エコテクノロジーカンパニー[宇都宮製作所(栃木県宇都宮市)]

国内関係会社(国内関連企業部会参画の5社)

- 輸送機工業株式会社(愛知県半田市)
- 富士機械株式会社(群馬県前橋市)
- 株式会社イチタン(群馬県太田市)
- 桐生工業株式会社(群馬県桐生市)
- 株式会社スバルロジスティクス(群馬県太田市)

注記:「2007社会・環境報告書」では国内関連企業部会参画は6社でしたが、富士ロビン(株)につきましては、(株)マキタに当社が保有する富士ロビン(株)の全株を売却したため、2007年度実績から除外となりました。

海外関係会社(北米環境委員会参画の5社)

- S I A : Subaru of Indiana Automotive, Inc. (インディアナ州ラファイエット)
- SOA : Subaru of America, Inc. (ニュージャージー州チェリーヒル)
- SC I : Subaru Canada, Inc. (オンタリオ州ミシサーガ)
- SRD : Subaru Research & Development, Inc. (ミシガン州アンナーバー)
- RM I : Robin Manufacturing U.S.A., Inc. (ウィスコンシン州バドノン)

上記以外の関係会社につきましては一部活動状況を紹介しています。

対象期間

2007年度(2007年4月~2008年3月)の実績と一部それ以前の取り組みや本報告書発行直前までのものを含みます。

※海外関係会社については2007年1月~12月の実績となります。

◇参考としたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン(2007年度版)」

◇本報告書に関するお問い合わせ先

富士重工業株式会社 総務部 CSR・環境推進室
〒160-8316 東京都新宿区西新宿一丁目7番2号
TEL.03-3347-2036 FAX.03-3347-2381

03	トップメッセージ
05	事業紹介 Introduction of SUBARU
	【2008特集】
07	—購買環境委員会の活動
	CSR調達への取り組み
09	—お客さま満足度向上へ向けて
	お客様第一推進部の視点
11	—特約店での取り組み
	CS最前線へ進化し続ける東京スバル中野店
13	—地球にやさしいクルマづくり
	新型フォレスターの環境性能
15	—SUBARUの“地球温暖化防止への取り組み”
	商品開発での取り組み
	スバルグループにおけるさまざまな取り組み
	【社会性報告】
19	CSR・環境委員長メッセージ、企業理念
20	CSR取り組み概要
22	コーポレート・ガバナンス
23	コンプライアンス
25	すべてはお客さまのために
28	株主の皆さまとともに
29	社会とのかかわり
32	従業員とともに
	【環境報告】
35	環境マネジメント
39	第4次環境ボランティアプラン
40	クリーンな商品
43	クリーンな工場
46	クリーンな物流
47	自動車リサイクル
49	クリーンな販売・サービス
50	第三者評価



2008社会・環境報告書webデータ編内容

当社ホームページから簡単にダウンロードできます。

[当社環境取り組みご紹介ページのアドレス]

<http://www.fhi.co.jp/about/envi/report/index.html>

- 社会・環境への取り組みの歴史
- 会社概要
- 環境マネジメントデータ
- 社会・環境への地域での取り組み